

自己表現を支えることばを生む環境作り～社会とわたしを繋ぐ～

実践報告

こどもたちの持つことばと きもちに光があたる工夫と取り組み



～散在地域／大分県別府市の小学校での実践～

別府市教育委員会 日本語指導員
多文化に生きるこどもネットワーク大分

立山 愛

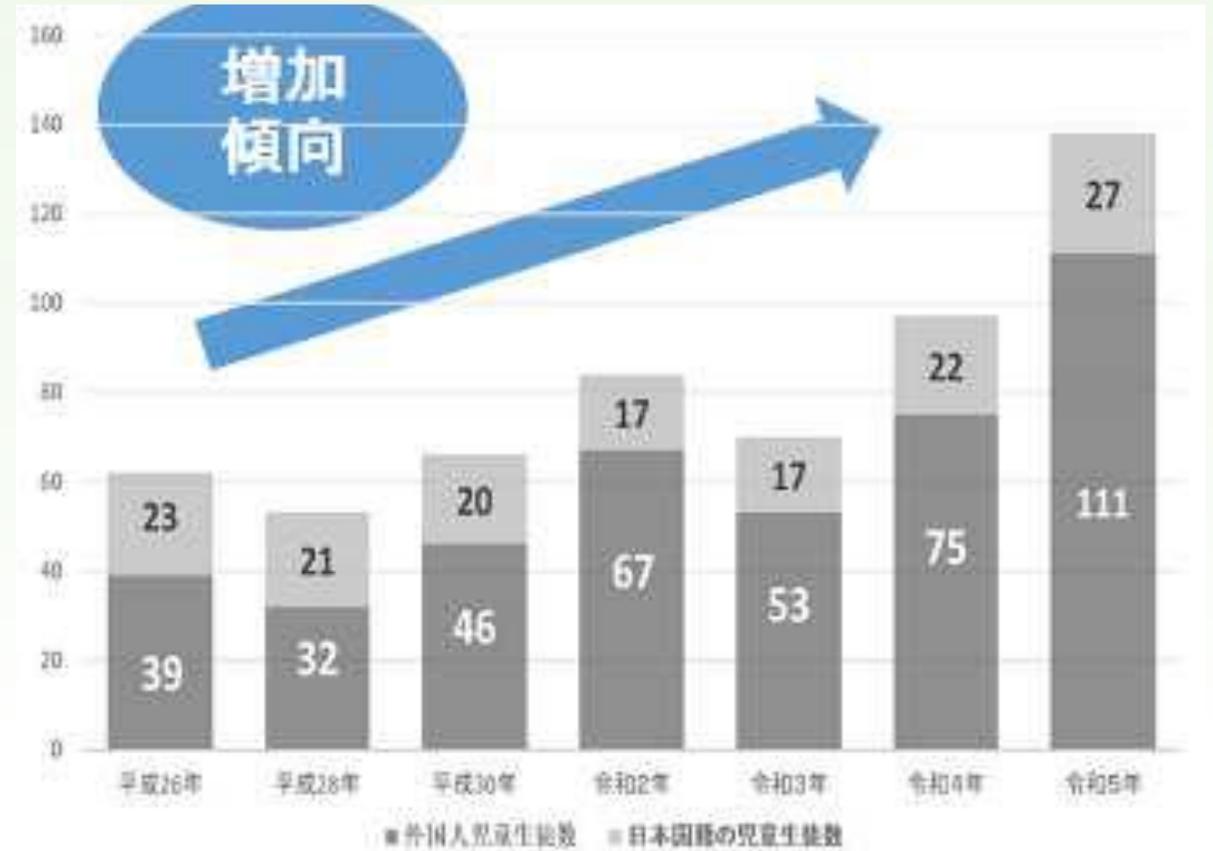
流れ

1. 大分県別府市の日本語指導が必要な児童生徒の概要
2. 事例【学級と繋ぐ】 ジーナさん ~クラスのお友だちがほしい~
3. 事例【学校と繋ぐ】 マラナさん ~委員長になりたい~
4. 事例【地域と繋ぐ】 イオンさん ~母語でおしゃべりしたい~
5. まとめ 自己表現を支えることばを生む環境をつくるために

※研修で扱うこどもの名前はすべて仮名です。

大分県は日本語指導が必要な児童生徒の散在地域

- 日本語指導が必要な児童生徒数 138名
別府市は57名（R5.5）
- 県内、市内各地に少数で散在
- 母語の多言語化
- 非常勤の日本語指導者が週数時間派遣
- 別府市に常勤の日本語指導員配置スタート（R5～）
- 別府市は国際観光都市といわれ、外国人観光客が多く、また人口に占める留学生の割合が全国的に高い。そのため、観光と留学生に関する取り組みは活発である一方、生活者や児童生徒に関する取り組みは限定的



学級と繋ぐ

ジーナさん（小4 / バングラデシュから今年の4月に来日）
～クラスのお友だちがほしい～



ジーナさんと学級を繋ぐ活動 1

クラスメイトの名前と文字学習

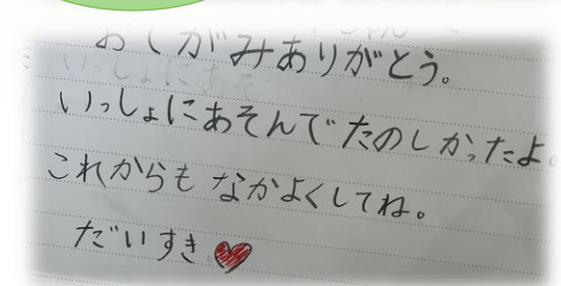
きっかけ：ジーナさんのつぶやき「クラスのお友だちがほしい」

- ① インタビュータスク「名前をおしえて」
クラスメイトにインタビューし、名前を書いてもらって席次表づくり
- ② クラスメイトの名前を単語帳にひらがなで書いて渡すと
覚えてたのひらがなを声にだして読むジーナさん
- ③ 「インタビューを手伝ってくれた子に、お礼の手紙を書きたい」
取り出しの時間に、お手紙を書く

効果：「お返事が来た！」お手紙交換につながっていった



読む



書く



聞く
話す

ジーナさんと学級を繋ぐ活動 2

母語やわかる言語をいかして

- ① 母語を活かしたスモールトークの表現集作り
～ジーナさんと話そう！～
- ② クラス掲示ポスター作り
～ベンガル語を話してみよう～

効果：ジーナさんがクラスメイトに伝えたいこと
クラスメイトがジーナさんに伝えたいことを
指差しでサッと伝えられるように
教室内でベンガル語のあいさつが飛び交う

その後、タブレット端末の翻訳機能で
お互いにコミュニケーションをとる姿が増えた

教室内に存在する言語の多様性が受け入れられ
支持的な環境が広がっていった

指差し会話帳 POINT&SPEAK ()とはなそう!
おん

にほんご	ベンガル語	English
いっしょに あそぼう	চল একসাথে খেলি	Let's play together.
いれて	আমি কি যুক্ত হতে পারি?	Can I join?
みせて	তুমি কি আমাকে দেখাবে	Can you show me?
おしえて	তুমি কি আমাকে শিখা দিবে	Can you teach me?
てつだって	আপনি কি আমাকে সাহায্য	Can you help me?
まって	দয়া করে অপেক্ষা করুন	Please wait.
だいじょうぶ?	ঠিক আছে?	Ok?
うん、だいじょうぶ	আমি ঠিক আছি	I'm ok.
ありがとう	ধন্যবাদ	
ごめんなさい	দুঃখিত	
いいよ	ঠিক	
どうしたの?	কী হল	
いたい	আমাকে ব্যথা	
わからない	আমি বুঝতে পারছি না	
おなかすいた	আমি ক্ষুধা	
のどがかわいた	আমি তৃষ্ণা	
きもちわるい	আমি অসুস্থ	
いじわるされた	আমি অপমানিত	
うれしい!	খুশি	
たのしい!	এটা মজা	
わかんない	আমি বুঝতে পারছি না	

ベンガル語で話してみよう!

日本語	ベンガル語	読み方
おはよう	সোভে সন্ধান	シュボショカール
あいさつ	ধন্যবাদ	トニノバット
いいね!	চমৎকার!	ジョンモッテ...カール
さようなら	বিদায়	ビタイ
ごめんなさい	দুঃখিত	トッキッド

ジーナさんと学級を繋ぐ活動 3

担任の先生とのコミュニケーション

きっかけ：算数日記や、日誌書きは日本語で書かなければならないと思い、空白になっていた

- ① 入り込み指導で文章を書く声掛け「母語や書ける言語でいいんだよ」担任側に、日本語に翻訳する方法を伝え、意味理解をサポート
- ② 国際教室で学んだ日本語のアウトプット先を担任の先生に向けて

効果：自己表現を支えることば（母語でも日本語でも）のアウトプットに意欲的になっていった

6/ (火) No.21
 (問) 面積や体積を求めよう。
 (式) $\frac{2}{5} \times \frac{3}{4} = \frac{2 \times 3}{5 \times 4} = \frac{3}{10}$ 答え $\frac{3}{10} \text{ m}^2$
 かけ算の順番を入れかえて
 答えは同じ分数でも成り立つ
 (式) $\frac{4}{5} \times \frac{3}{4} \times \frac{2}{3} = \frac{4 \times 3 \times 2}{5 \times 4 \times 3} = \frac{2}{5}$ 答え $\frac{2}{5} \text{ m}^3$
 直方体
 (式) $(\frac{1}{2} + \frac{1}{4}) \times \frac{1}{3} = (\frac{2}{4} + \frac{1}{4}) \times \frac{1}{3} = \frac{3}{4} \times \frac{1}{3} = \frac{3 \times 1}{4 \times 3} = \frac{1}{4}$ 答え $\frac{1}{4} \text{ m}^2$
 分数でも $(a+b) \times c = a \times c + b \times c$ が成り立つ
 $\frac{1}{2} \times \frac{1}{3} + \frac{1}{4} \times \frac{1}{3} = \frac{1}{6} + \frac{1}{12} = \frac{2}{12} + \frac{1}{12} = \frac{3}{12} = \frac{1}{4}$
 分数でも $(a+b) \times c = a \times c + b \times c$ が成り立つ

《算数日記》
 During the lesson, I wanted to try to explain but I was nervous then lost of words so I couldn't do it. But I still understood the lesson.

きんちゆうしちやっただね!
 でも手を挙げて反応してくれてありがとう
 先生はうれしかったよ!

もんだい
 問題をつくらう!

例: おかあさんはりんごとパンを かいました。

りんご(150円) パン(100円)

- ① ぜんぶでいくらですか。
- ② 300円はらいました。おつりはいくらですか。

もんだい
 問題

~~お~~先生のお父さんは ~~お~~先生に 50,000円あげました。
~~お~~先生はドレスとぼうしとくつとけいしょうひんをかいました。
 ドレスは5049円、ぼうしは3016円、くつは10901円、けいしょうひんは20656円です。

- ① ぜんぶでいくらですか。
- ② 50,000円はらいました。おつりはいくらですか。

① $50000 - (5049 + 3016 + 10901 + 20656)$

なまえ(

Thank you for creating this nice question! You worked hard to write a lot. Good job!



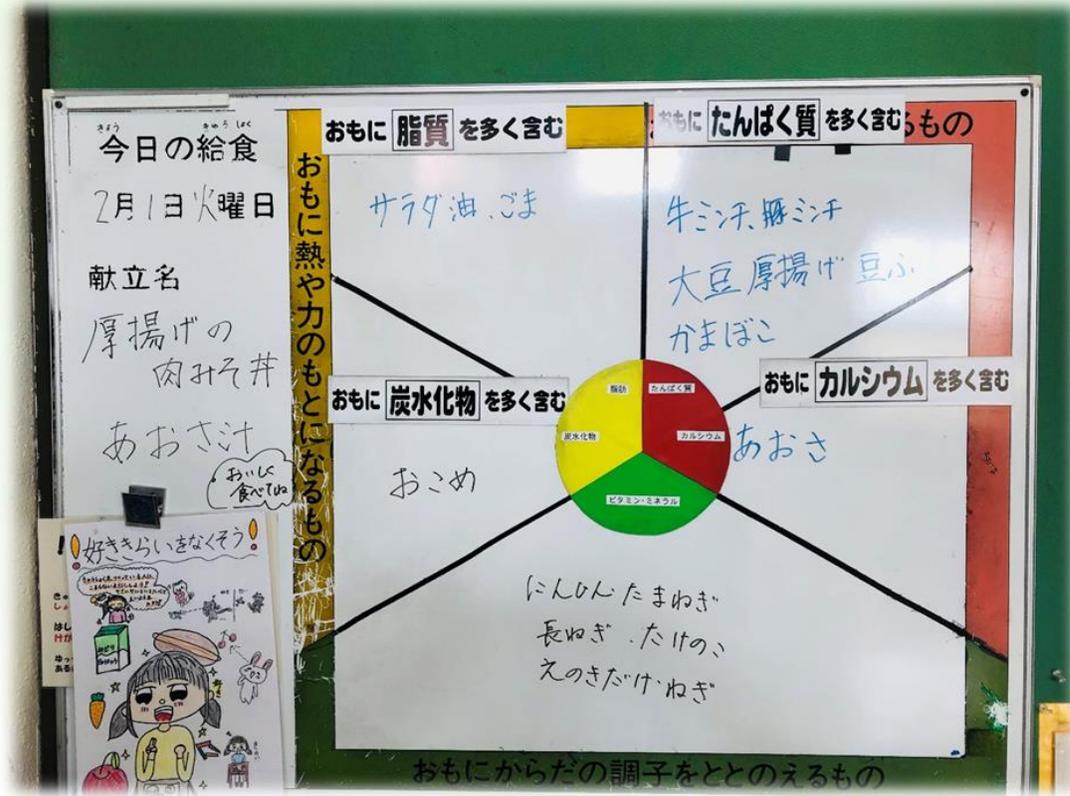
おしゃべりになりました!

学校と繋ぐ

マラナさん（小6／タジキスタンから来日1年半）
学校での社会的役割
～委員長になりたい～



マラナさんと学校を繋ぐ活動 1



委員長は給食室前の掲示板に、赤・緑・黄で食材を色分けして書くお仕事。マラナさんは宗教上、給食は食べられないものが多く、知らない食材ばかり

きっかけ：

給食委員長という社会的役割を得たマラナさん。「委員長になったのに、できないことがあるの・・・」自信をもって役割をはたせるように、どんなことばの支援をしたらいいのだろうか。

給食委員に求められる活動内容

【活動内容】

- ホワイトボードに、給食のこんだてを書く。
- ハンドリープの補充。
- 給食の栄養素の掲示
- 健康や安全に関するお女房せ(ポスターづくりや放送)

給食だよりを使って学習

- ① 食品群を色分けして知らせる必要性について考える
- ② 6大栄養素を学び、マラナさんの国の食べ物をグループ分け
- ③ 給食の食材の絵カードで、栄養素毎にグループ分け練習

効果：マラナさんひとりで自信をもって給食室前の掲示板に、赤・緑・黄で食材を色分けして書けるようになった。
マラナさん「委員会の仕事、大変だけど楽しい」

栄養大サーカス

そろっているかな？

健康な体づくりのためには、いろいろな食品を組み合わせることが大切です。その際に、目安となるのが食品を赤・黄・緑の3色にわけて、バランスよく食べる方法（3色食品群）です。
みなさんも3つの色の食品を覚えて、いろいろ組み合わせて食べるようにしましょう。

赤

あか

体をつくる
もとになるよ！

緑

みどり

体の調子を
ととのえるよ！

黄

エネルギーの
もとになるよ！

6つの基礎食品群で 健康な生活を送ろう!!

6つのグループの食品の特徴を知り、食品群に偏りがないうよう、いろいろな食品をとるようにしましょう。

<p>1群</p> <p>肉類や魚類や卵などたんぱく質が豊富</p>	<p>2群</p> <p>骨や歯をつくるカルシウムが豊富</p>	<p>3群</p> <p>皮膚や髪を健康に保つカロテンが豊富</p>
<p>4群</p> <p>病気の予防に役立つビタミンCが豊富</p>	<p>5群</p> <p>体を動かすエネルギー源の炭水化物が豊富</p>	<p>6群</p> <p>効率的なエネルギーになる脂質が豊富</p>

こんな食生活をしている人 過不足注意報発令中!

こんな生活してないかな?

野菜は少ない! たんぱく質が少ないよ

3群・4群 不足注意報!

野菜には豊富なビタミンやミネラル、食物繊維が含まれています。調理法を変えるなど工夫して少しずつでも食べるようにしましょう。

から揚げやクロワッサン好き! 揚げ物ばかり食べているよ

6群 とりすぎ注意報!

油脂類を必要以上に多く摂取していると、肥満になったり生活習慣病を引き起こしてしまいますので、適量を心がけましょう。

血や肉になる たべもの

熱やかに なる たべもの

体の調子を 整える たべもの

たんぱく質

脂質

炭水化物

カルシウム

ビタミン

ミネラル

豆腐/絹

きんぴら

だいこん

マラナさんと学校を繋ぐ活動 2



社会的実践 校内放送

きっかけ：マラナさん「全校に向けて日本語で放送するのは
こわい。でも、外人にはできないって思われたくない。」

- ① 担当の先生と連携し、献立やセリフを事前に国際教室で練習
- ② 給食の時に、献立・食材について全校に放送するという役割を果たす

効果：放送は職員室内、いつも管理職のすぐそばで行われ、
放送を頑張るたびにたくさんの称賛をもらうマラナさん。
「私、委員長になってよかった。」
マラナさんに支持的な環境が広がっていった。

マラナさんと学校を繋ぐ活動 3

国際ウィークの企画

- ① 国際教室での1年間の学びをポスターにまとめる
- ② 国際教室を1週間、全学年に開放しポスター発表
- ③ 「おなまえ屋さん」で交流

開催時期を授業参観、教育委員会訪問時に
効果：周囲の意識の変容、支持的な環境が広がった



総合の時間をもらい、「世界がもし100人の村だったら」WS



授業参観期間中
保護者にもポスターを見てもらう



「おなまえ屋さん」 母語で名前を書いてプレゼント
全学年、担任他、教職員を招待



校内に、国際カレンダーや言語ポートレート
出身国についてのポスターなどを掲示

地域と繋ぐ

イオンさん（中1／日本生まれ イギリスルーツ）
～母語でおしゃべりしたい～



イオンさんと地域と繋ぐ活動

多文化に生きるこどもたちによる 多言語スピーチ会

きっかけ：イオンさん「学校で母語を話したら先生に注意される。
学校でも友だちと母語でおしゃべりできたらいい。」

- ① 県内各地の学校に少数で散在している複言語で育つ子たちで集まり、「自分のことば」で気持ちを伝える会をつくろう
- ② イオンさんは司会を担当、こども実行委員会を立ち上げる

ぼくも多文化につながっている子どもの1人です。普段の生活の中ではなかなか家族以外と母語で話すチャンスがありませんが、今日はみなさんと一緒に、日本語以外の言語にも意識を向けることができればいいなと思います。

多言語スピーチ会

～自分のことばで自分の気持ちを伝えよう～

対象
多文化に生きるこどもたち
◆小・中学生の部
(スピーチ3分程度)
◆高校生以上の部
(スピーチ5分程度)

テーマ
「自分のことばで自分の気持ち」
を伝えられる内容で
自由に決めてください。
例：「多文化に生きる」「私の宝物」
「ぼくの国はこんなところ」など

表彰
全員に賞あり
◆感動ありがとう賞
◆グッときたよ賞
◆勇気をもらった賞
などなど

効果：「自分のことば」を使用言語とすることで、社会的アイデンティティを育み、他者からの認知や承認を得る機会、地域とのつながりの獲得につながっていった。スピーチ会は4年目、地域の活動として根付いてきた。



多言語スピーチ会の司会をするイオンさん

自己表現を支えることばを生む環境作り

～こどもたちの持つことばときもちに光をあてるために～

授業の大きな流れ
体験→探究→発信

日本語教室
体験・探求

日本語教室（アウトプット1）

わかったことを発信

在籍学級・学校・地域など（アウトプット2）

他者からの承認+ことばの獲得

授業で
大切に
している
こと

学びの場と環境、参加の機会をつくり、ひろげる≡アウトプット（表現支援）はたっぷりと